

●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○見通しをもって業務を進めることができた(スーパー定時退勤日に帰ることができた)と回答した職員90%以上	・長期、短期ごとに業務の内容を見通して計画を立て、可視化する。業務の優先順位と退勤時刻を決め、効率よく業務を進める。 ・月に一度、スーパー定時退勤日を設定する。						
--------------------	----------------------	---	---	--	--	--	--	--	--

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員90%以上	・児童支援会議を毎月実施し、支援が必要な児童の共通理解を図る。 ・特別支援教育の職員研修を計画的に実施し、職員一人一人の専門的理解を深める。						
○地域連携	○まなざし運動と市民性を育む教育の充実	○地域の人、もの、ことへの関心が高まった、または、地域のことを再発見したと回答する児童が90%以上 ○地域の人、もの、ことに関わる活動を進めることができたと回答する教職員が90%以上	・総合的な学習の時間のねらいを職員全体で共有し、ふるさとに根ざした学習活動を展開する。 ・学習や行事に地域の人々が積極的に参画できる計画を立てる。地域教育コーディネーターや運営協議会の委員と話し合いの場をもち、情報を共有しながら内容を吟味し、実践する。						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------